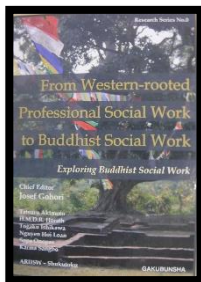


仏教ソーシャルワーク研究の成果は次々に

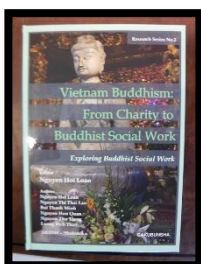
私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の一環として行われている研究プロジェクトは四年目を迎えました。これまで実施されてきた調査などの成果は研究シリーズとして出版され公開されていきます。これまで出版されたものは下記の通りであります。アジアの10以上の国や地域を対象とした研究プロジェクトとして、その成果をまず英語で公開しますが、同時に、国内に向けて日本語版を、そして現地に向けて現地の言語版を出版していく流れになります。



J. Gohori (ed) From Western-rooted Professional Social Work to Buddhist Social Work. 英文 2017年11月出版
研究フレームワークや仏教ソーシャルワークの作業定義に向けての議論をまとめた一冊です。研究シリーズのスターティングポイントに当たります。



H. Ogawa, J. Gohori (eds) Growth of the Buddhist Social Work Activities in Mongolia. 英文 2018年1月出版
70年にわたって仏教が禁止された時代を乗り越えて、今のモンゴル社会に様々な形で貢献している仏教ソーシャルワーク活動をクローズアップ。

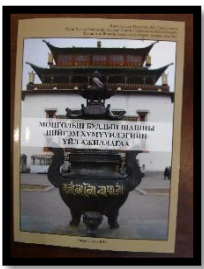


N. H. Loan (ed) Vietnam Buddhism: From Charity to Buddhist Social Work. 英文 2017年11月出版
ベトナム仏教の歴史の特徴を捉えながら仏教が社会の中で果たす役割に着眼し、その変遷を追っていく一冊。



郷堀ヨゼフ(編)『西洋生まれ専門職ソーシャルワークから仏教ソーシャルワークへ』 和書 2018年3月出版

日本語版シリーズの第0号に当たる一冊です。仏教ソーシャルワークの特徴や研究枠組みについて論じながら、ソーシャルワークの定義を問う。



Demberel Oyut, Altaibaatar (eds) Бурханы шашны

нийгмийн ажлын үйл ажиллагааны өсөлт

モンゴル語版 2018年3月出版

英文と同様の内容を現地の言葉で纏めました。現地に向けて研究成果を発信する第一歩です。

ビジティングリ・サーチャー論博プログラム

第1期VR 学位請求論文提出へ ・ 第3期VR 「該当者なし」

2018年6月に本プログラムの第1期VRの学位請求論文が本学へ提出される予定です。また、4月1日付で今年度の第3期VR募集を行ないました。博士課程と比べてハードルの高いプログラムとはいえ、今年も数件の応募がありました。これらを受けて5月25日に選考委員会が開かれ、応募者の研究計画の内容や独自性について検討されました。そこでは、2年間で書きまとめる「論博」に耐えるか、その進捗について吟味されました。選考の結果、すべての応募課題のレベルの高さ、独自性や重要性は評価されたものの、厳しい審査に合格できる課題がないため、今年度は「該当者なし」となりました。